

対応表開始年	平成19～25年(2007～2013年)4月入学生
	平成21～27年(2009～2015年)3月卒業生
養成機関名	静岡県立農林大学校
学部学科名	研究部・総合技術専攻

※養成部(短大部分)からの場合はH17～23年(2005～2011年)入学生

分野別科目対応表(平成26年(2014年)4月入学生からは申請不可)

		講義科目	実験・実習科目
分野別	樹木の分類	森林インストラクター養成② 樹木学演習②	環境緑化論(樹木同定)②…(養成部)
	樹木の生態・生理	森林環境論② 植物生理学②	林業技術実習(林業用種苗)②
	立地・土壌	森林土壌学② 土壌肥料学②	
	植物病理	●森林保護論Ⅱ② 植物病理学②	林業技術実習(抵抗性マツ)②
	昆虫・動物	●森林保護論②…(養成部) ●森林保護論Ⅱ② ●応用昆虫学②	
	樹木医学		林業技術実習(樹木医)④ インターンシップ(研修先は樹木医に限る)④
	農業科学	●応用昆虫学②	
	造園学	造園②…(養成部)	環境緑化論(緑化木生産)②…(養成部) インターンシップ(研修先は造園関係に限る)④
	樹木医補総合		

- 注. 樹木医学研究に係る「卒業論文Ⅱ」は、内容に該当する分野の「実験・実習科目」の1科目とすることができます。
- 注. 樹木医学研究に係る「インターンシップ」は、内容に該当する分野の「実験・実習科目」の1科目とすることができます。
- 注. 「…(養成部)」の記載のある科目は、静岡県立農林大学校養成部(短大部分)での履修科目となります。
- 注. 当学校での1単位は文科省系列大学の2単位に相当するため、表中では単位数を2倍に換算して記載しています。
- 注. 「講義科目」の「森林保護論Ⅱ」と「応用昆虫学」は2分野に配置されていますが、それぞれ、どちらか1つの分野での履修とみなします(1分野1科目②単位)。
- 注. 「実験・実習科目」の「環境緑化論」は、2分野2科目の履修とみなします(2分野2科目④単位)。

平成27年2月17日再整理 (※過年度認定当時の内容で、平成27年2月17日時点で再整理したもの)

対応表開始年	平成18年(2006年)4月入学生
	平成20年(2008年)3月卒業生
養成機関名	静岡県立農林大学校
学部学科名	研究部・総合技術専攻

※養成部(短大部分)からの場合はH16年(2004年)入学生

分野別科目対応表

		講義科目	実験・実習科目
分野別	樹木の分類	森林インストラクター養成② 樹木学演習②	環境緑化論(樹木同定)②…(養成部)
	樹木の生態・生理	森林環境論② 植物生理学②	林業技術実習(林業用種苗)②
	立地・土壌	森林土壌学② 土壌肥料学②	
	植物病理	●森林保護論②(内容:森林保護論Ⅱ) ●植物病理学②	林業技術実習(抵抗性マツ)②
	昆虫・動物	●森林保護論②…(養成部) ●森林保護論②(内容:森林保護論Ⅱ) ●応用昆虫学②	
	樹木医学		林業技術実習(樹木医)④ インターンシップ(研修先は樹木医に限る)④
	農業科学	●応用昆虫学②	
	造園学	造園②…(養成部)	環境緑化論(緑化木生産)②…(養成部) インターンシップ(研修先は造園関係に限る)④
	樹木医補総合		

- 注. 樹木医学研究に係る「卒業論文Ⅱ」は、内容に該当する分野の「実験・実習科目」の1科目とすることができます。
- 注. 樹木医学研究に係る「インターンシップ」は、内容に該当する分野の「実験・実習科目」の1科目とすることができます。
- 注. 「…(養成部)」の記載のある科目は、静岡県立農林大学校養成部(短大部分)での履修科目となります。
- 注. 当学校での1単位は文科省系列大学の2単位に相当するため、表中では単位数を2倍に換算して記載しています。
- 注. 「講義科目」の「森林保護論」と「応用昆虫学」は2分野に配置されていますが、それぞれ、どちらか1つの分野での履修とみなします(1分野1科目②単位)。
- 注. 「実験・実習科目」の「環境緑化論」は、2分野2科目の履修とみなします(2分野2科目④単位)。

平成27年2月17日再整理 (※過年度認定当時の内容で、平成27年2月17日時点で再整理したもの)

対応表開始年	平成17年(2005年)4月入学生
	平成19年(2007年)3月卒業生
養成機関名	静岡県立農林大学校
学部学科名	研究部・総合技術専攻

※養成部(短大部分)からの場合はH15年(2003年)入学生

分野別科目対応表

		講義科目	実験・実習科目
分野別	樹木の分類	●森林環境論②(内容:森林インストラクター養成)	●環境緑化論(樹木同定)②…(養成部)
	樹木の生態・生理	●森林環境論②(内容:森林環境論)	●林業技術実習(林業用種苗)②
	立地・土壌	●造林学②(内容:森林土壌)	
	植物病理	●造林学②(内容:森林保護論Ⅱ)	●林業技術実習(抵抗性マツ)②
	昆虫・動物	●森林保護論②…(養成部) ●造林学②(内容:森林保護論Ⅱ) ●応用昆虫学②	
	樹木医学		●林業技術実習(樹木医)④ ●林業演習Ⅰ⑩(研修先は樹木医に限る)
	農業科学	●特別講義② ●応用昆虫学②	
	造園学	●造園②…(養成部)	●環境緑化論(緑化木生産)②…(養成部) ●林業演習Ⅰ⑩(研修先は造園関係に限る)
	樹木医補総合		

- 注. 樹木医学研究に係る「卒業論文Ⅱ」は、内容に該当する分野の「実験・実習科目」の1科目とすることができます。
- 注. 「…(養成部)」の記載のある科目は、静岡県立農林大学校養成部(短大部分)での履修科目となります。
- 注. 当学校での1単位は文科省系列大学の2単位に相当するため、表中では単位数を2倍に換算して記載しています。
- 注. 「講義科目」の「森林環境論」と「造林学」は、各2分野2科目の履修とみなします(2分野2科目④単位)。
- 注. 「講義科目」の「応用昆虫学」は2分野に配置されていますが、どちらか1つの分野での履修とみなします(1分野1科目②単位)。
- 注. 「実験・実習科目」の「環境緑化論」と「林業技術実習」は、各2分野2科目の履修とみなします(2分野2科目④単位)。(なお、「樹木医学」分野の「林業技術実習(樹木医)」は、選択科目となります。)

対応表開始年	平成16年(2004年)4月入学生
	平成18年(2006年)3月卒業生
養成機関名	静岡県立農林大学校
学部学科名	研究部・総合技術専攻

※養成部(短大部分)からの場合はH14年(2002年)入学生

分野別科目対応表

		講義科目	実験・実習科目
分野別	樹木の分類	●森林環境論②(内容:森林インストラクター養成)	●環境緑化論(樹木同定)②…(養成部)
	樹木の生態・生理	●森林環境論②(内容:森林環境論) ●応用技術演習(保全森林生態学)④	●応用技術実習(林業用種苗)②
	立地・土壌	●造林学②(内容:森林土壌)	
	植物病理	●造林学②(内容:森林保護論Ⅱ)	●応用技術実習(抵抗性マツ)②
	昆虫・動物	●森林保護論②…(養成部) ●造林学②(内容:森林保護論Ⅱ)	
	樹木医学		●応用技術実習(樹木医)④ ●林業演習(研修先は樹木医に限る)⑩
	農業科学	●特別講義②	
	造園学	●造園②…(養成部)	●環境緑化論(緑化木生産)②…(養成部) ●林業演習(研修先は造園関係に限る)⑩
	樹木医補総合		

- 注. 樹木医学研究に係る「課題研究Ⅱ」は、内容に該当する分野の「実験・実習科目」の1科目とすることができます。
- 注. 「…(養成部)」の記載のある科目は、静岡県立農林大学校養成部(短大部分)での履修科目となります。
- 注. 当学校での1単位は文科省系列大学の2単位に相当するため、表中では単位数を2倍に換算して記載しています。
- 注. 「講義科目」の「森林環境論」と「造林学」は、各2分野2科目の履修とみなします(2分野2科目④単位)。
- 注. 「実験・実習科目」の「環境緑化論」と「応用技術実習」は、各2分野2科目の履修とみなします(2分野2科目④単位)。
(なお、「樹木医学」分野の「応用技術実習(樹木医)」は、選択科目となります。)